



若宮防衛副大臣 来沖



桑江沖縄市長との会談



牧港補給地区の視察



沖縄市サッカー場の視察

目次

CONTENTS

| | |
|-----------------------------|---|
| 若宮防衛副大臣の沖縄訪問 | 2 |
| 幹部職員の紹介 | 3 |
| トリエ通信施設の一部土地(飛び地)の返還 | 4 |
| 米軍再編に係る航空機の訓練移転 | 5 |
| 平成27年度沖縄県総合防災訓練 | 5 |
| 平成27年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式 | 6 |

| | |
|--------------------------------|---|
| 第2回久辺三区の振興に関する懇談会の開催 | 7 |
| 辺野古区民運動会開催 | 7 |
| 豊原区民運動会開催 | 7 |
| キャンプ・ハンセン親睦交流ソフトボール大会に参加 | 8 |
| 自衛隊員によるボランティア活動 | 8 |
| 在沖米海軍の海軍軍人等による地元交流 | 8 |

若宮防衛副大臣の沖縄訪問

嘉手納以南の米軍施設の返還計画(統合計画)に伴い、牧港補給地区及びキャンプ瑞慶覧の一部を嘉手納弾薬庫地区の知花地区へ移設する計画に関連して、若宮防衛副大臣は、10月30日、移設に対するご理解とご協力を桑江沖縄市長に要請するため、沖縄を訪問しました。

若宮副大臣は、移設建物が存在する牧港補給地区、本年3月31日に返還された宜野湾市の西普天間住宅地区の跡地、キャンプ瑞慶覧のインダストリアル・コリドー地区、嘉手納弾薬庫地区の知花地区及び沖縄市サッカー場を視察した後、沖縄市役所において桑江沖縄市長と移設受入について会談しました。



嘉手納弾薬庫地区の知花地区の視察

若宮副大臣及び桑江沖縄市長との会談

会談では、若宮副大臣より、嘉手納弾薬庫地区の知花地区への移設についてご理解とご協力をお願いするとともに、市長から沖縄防衛局長にお話があった基地から派生する課題についての防衛省内での検討状況について説明しました。

桑江沖縄市長からは、沖縄県全体の振興を見ると、基地の整理・縮小は必要であると理解する一方、基地から派生する課題や沖縄市の発展のための施策への国の対応を見極めて対処していきたい旨のお話がありました。

当局としては、沖縄市の更なるご理解とご協力が得られるよう、本件について誠実に取り組んでまいります。

嘉手納弾薬庫地区(知花地区)への移設

【移設概要】

- キャンプ瑞慶覧のインダストリアル・コリドーに所在するスクールバスサービス関連施設を移設。
- 牧港補給地区から一般的な食品や生活物資等の倉庫、食品検査場、車庫整備工場やクリーニング工場等を移設。



幹部職員の紹介

平成 27 年 10 月 1 日付けで、平井次長及び儀保名護防衛事務所長が着任いたしましたので、ご挨拶いたします。



次長 ひらい ひろとも
平井 啓友

10月1日付けで沖縄防衛局次長を拝命した平井です。熊本防衛支局から赴任して参りました。沖縄勤務は3回目で、昭和の終わりの頃と、平成3年から5年にかけてのトータル5年間、久米にあった那覇防衛施設局に勤務しました。

今回、約22年ぶりの沖縄勤務となり、着任早々、関連市町村等を訪問させて頂きましたが、行く先々で拡幅された道路や商業施設など、この20年ですっかり様変わりした景観に圧倒される一方で、あちらこちらに昔の面影を見つけては、感慨に浸っております。

過去の勤務は2回とも建設関連の部署で、主に防衛施設内の建設業務に携わっておりました。今回は局次長という立場で施設内外の様々な問題に携わることとなりますが、地元と自衛隊、米軍との良い関係に貢献できるよう、力いっぱい努力する所存です。よろしくお願ひします。



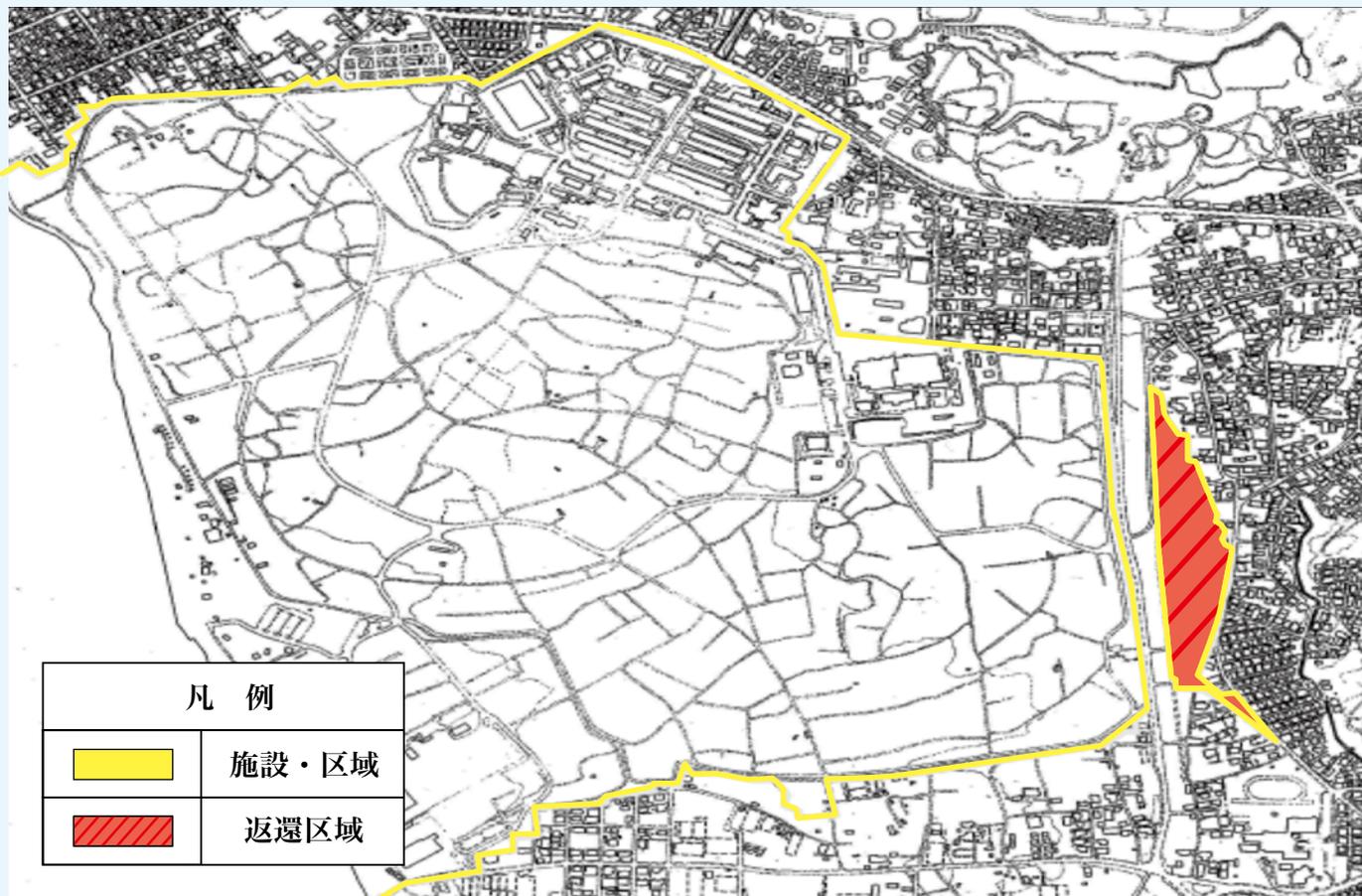
名護防衛事務所長 ぎ ほ ただみつ
儀保 忠光

10月1日付けで名護防衛事務所長に着任致しました儀保でございます。採用は沖縄ですが、異動の多い部署に所属していた関係で、沖縄勤務は前回平成14年以来の4度目となり、10月で1年半が過ぎたところです。毎回の勤務の度に、発展していく沖縄には驚かされると共に、洗練されていく街並みのなかで、常に新鮮な気持ちで仕事をさせて頂いております。

名護防衛事務所は、沖縄県の北部地区における基地行政業務に適切に対応できる体制を整備するため、名護市、本部町、東村、国頭村、大宜味村、今帰仁村、伊江村、伊是名村及び伊平屋村を管轄区域としています。区域内に所在する米軍施設と自衛隊の設置・運用等から生じる様々な問題について、迅速かつ的確に対応するため、地の利を生かし、早急に現場状況の把握、情報の収集に努めることとしています。現在は職員数7名と少人数ではございますが、広報誌「はいさい」の配布や地域の皆様のご要望や苦情等に対しましても、迅速丁寧に対応すべく一層努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

トリイ通信施設の一部土地(飛び地)の返還について

9月30日、嘉手納バイパスの整備に伴い、トリイ通信施設の一部土地(飛び地となっていた土地約3.8ヘクタール)が、米軍から返還されました。



【返還内容】

● 所在地：沖縄県中頭郡読谷村大木区及び大湾区 ● 返還面積：約38,220㎡

9月10日及び11日に読谷村大木公民館において、土地所有者を対象とした返還説明会を開催し、返還の概要、返還後の支障除去措置、支障除去期間補償金及び給付金の制度等について説明を行いました。

返還後の支障除去措置については、本件土地の使用履歴調査から始まり、順次、不発弾探査、土壌汚染調査及び物件撤去工事等を行うこととしております。

本件土地の有効かつ適切な利用の推進が図られるよう、地元のご意見も十分に伺いながら、支障除去措置等の実施に努めてまいります。

土地所有者の皆様方におかれましては、長年にわたり貴重な土地をご提供いただき、防衛行政に多大なご理解とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

また、返還に当たりご尽力いただきました読谷村及び読谷村軍用地主会に感謝申し上げます。



返還説明会の様子

米軍再編に係る航空機の訓練移転

米軍再編に係る航空機の訓練移転は、嘉手納飛行場周辺の更なる騒音軽減を図るため、平成18年5月の「再編実施のための日米ロードマップ」等に基づく平成19年から開始した国内の訓練移転に加え、平成23年1月及び10月の日米合同委員会合意に基づき、平成23年10月からグアム等への訓練移転を実施しているところです。今般、8月17日～9月13日までの28日間、嘉手納飛行場で実施予定であった岩国飛行場所属の航空機による訓練をグアム等へ移転して実施されました。

また、嘉手納飛行場から航空自衛隊築城基地への訓練移転を8月21日～9月2日までの13日間実施しました。

【訓練規模】

- ・岩国飛行場所属→グアム等 FA-18×10機程度等、人員260名程度
- ・嘉手納飛行場所属→築城基地 F-15×12機程度、人員190名程度

○訓練移転期間中における嘉手納飛行場の平均騒音発生状況

| 項目 | 騒音測定場所 | |
|--------------------------------------------|----------------------|----------------------|
| | 嘉手納飛行場内 (国道側) 北谷町 | 嘉手納飛行場内 (県道側) 沖縄市 |
| 岩国飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成27年8月17日～9月13日 | 89.5W | 90.9W |
| 嘉手納飛行場所属→築城基地の訓練移転期間の平均 平成27年8月21日～9月2日 | 85.0W | 88.3W |
| 平成26年度平均 | 91.0W | 92.1W |
| 平成18年度(訓練移転開始前) | 94.0W | 94.2W |

○訓練移転期間中における外来機と考えられる航空機の1日当たりの平均離着陸等回数(0600-1800)

| 項目 | 戦闘機 | 戦闘機以外 | 合計 |
|--------------------------------------------|-------|-------|-------|
| 岩国飛行場所属→グアム等の訓練移転期間の平均 平成27年8月17日～9月13日 | 1.4回 | 18.3回 | 19.7回 |
| 嘉手納飛行場所属→築城基地の訓練移転期間の平均 平成27年8月21日～9月2日 | 1.7回 | 13.6回 | 15.3回 |
| 平成26年度平均 | 9.3回 | 19.9回 | 29.2回 |
| 平成22年度平均(目視調査開始) | 21.1回 | 17.4回 | 38.5回 |

平成27年度沖縄県総合防災訓練

9月5日、北中城村の熱田漁港を主会場として、沖縄県及び北中城村ほか中部管内9市町村が主催する「平成27年度沖縄県総合防災訓練」が行われ、井上局長ほか関係職員が参加しました。

訓練では、災害対策基本法、沖縄県地域防災計画及び市町村地域防災計画に基づき、沖縄本島東方沖約100kmを震源とする強い地震(本島:震度6弱、周辺離島:震度6弱～5弱)が発生したと想定し、津波発生、建物倒壊、火災、ライフライン被災などの災害発生時における自衛隊や他の防災関係機関の連携要領及び対応状況を確認しました。



LCAC(エルキャック)による発電車両の輸送



SCU(医療施設)を視察する井上局長

「平成27年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式」開催

10月15日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場ホールにおいて、沖縄県内の米軍施設に勤務する在日米軍従業員の永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は、長年にわたり米軍施設に勤務してこられた従業員の方々の功労を称えることを目的に、毎年在日米軍との共催で実施されているものです。

本年度は、10年表彰205名、20年表彰465名、30年表彰48名、40年表彰5名の計723名の方々が受賞されました。

式典では、主催者を代表して井上沖縄防衛局長及び在日米軍沖縄地域調整官のニコルソン中将の挨拶に続き、局長及び各軍司令官等から各軍等の代表者5名に表彰状と記念品が授与されました。

その後、来賓の浦崎沖縄県副知事をはじめ、喜納沖縄県会議長、與那覇全駐労沖縄地区本部執行委員長等の方から祝辞をいただき、最後に勤続30年を迎えられた嘉手納飛行場勤務の富平喜美子様を受賞者を代表して謝辞を述べられました。

表彰式終了後に行われた懇談会では、受賞者の方々が各軍司令官等と記念撮影や談笑する場面があちこちで見られ、思い出に残るすばらしい1日になったことと思います。



井上局長による式辞



沖縄地域調整官ニコルソン中将による式辞

受賞者の皆様おめでとうございます



受賞者代表からの謝辞



懇談会の様子

「第 2 回久辺三区の振興に関する懇談会」の開催について

10月26日、総理大臣官邸において、辺野古区長、豊原区長及び久志区長の久辺三区長と、沖縄防衛局長、沖縄総合事務局長が出席し、「第 2 回久辺三区の振興に関する懇談会」が開催されました。

冒頭、内閣官房長官が出席し、久辺三区からの要望を踏まえた政府の検討状況について説明し、施策として更に具体化を図っていききたい旨発言がありました。

政府からは、内閣府沖縄振興局長、内閣官房内閣審議官、内閣府政策統括官及び防衛省地方協力局長も同席しました。

●「第 2 回久辺三区の振興に関する懇談会」の概要

今回の懇談会では、「現在の取組状況等について」を議題とし、沖縄防衛局長、沖縄総合事務局長及び久辺三区長から以下の発言がありました。

沖 縄 防 衛 局 長

平成 27 年度から久辺三区に対する直接助成の枠組みを検討している旨説明をするとともに、久辺三区からの要望については、その実現を図るべく、必要に応じ、地元自治体とも相談しながら、関係機関とも連携、調整し、できるものから実施する。また、久辺三区コミュニティ事業基金については、平成 27 年度において、地元要望どおり辺野古区については街灯、豊原区については倉庫の整備への利用について名護市とも調整しながら取り組んでいる。さらに、名護防衛事務所の体制について、定員を収容し得るよう、キャンプ・シュワブ近傍での移転を含め検討している。

沖 縄 総 合 事 務 局 長

久辺三区から要望のあった「生活排水処理のための下水道整備」などについて、沖縄総合事務局から名護市に対して取組状況を説明し、沖縄振興の観点から協力を依頼するとともに、今後も沖縄防衛局とも連携しながら沖縄県及び名護市と相談しつつ取り組んでいく。

久 辺 三 区 長

直接補助について、国の取組に対して評価するとともに、平成 27 年度事業として、防災備蓄倉庫、放送設備の修繕工事、乗用芝刈機等の物品購入、東屋の整備等の要望。

平成 28 年度については、引き続き事業内容の調整を行い、必要な予算確保に努めることとされました。

第 42 回 辺 野 古 区 民 運 動 会 開 催

11月1日、爽やかな秋空の下、第 42 回 辺野古区民運動会が開催されました。辺野古区の運動会では区民の方々や沖縄高専の学生のほか、辺野古 11 班としてキャンプ・シュワブから海兵隊員及び家族連れが参加し、区民らと交流を深めました。

また、当局からも井上局長ほか職員が参加し、リレー競争などに出場しました。



開会式の様子



リレー競争で力走する井上局長

第 34 回 豊 原 区 民 運 動 会 開 催



幼児にお菓子を配る、オドム司令官(左)と井上局長(右)

晴天に恵まれた 11 月 8 日、豊原区民運動会が開催されました。この運動会は、区民の健康増進と親睦を目的として開催されており、今年で 34 回を数えます。

今年は初めてキャンプ・シュワブのオドム司令官も来賓として出席し、井上局長ほか当局職員とともに障害物リレーの選手として出場したほか参加した子ども達への賞品のプレゼンターを務めるなど、区民らと交流を深めました。

キャンプ・ハンセン親睦交流ソフトボール大会に参加

10月17日、キャンプ・ハンセン内において、親睦交流ソフトボール大会が行われました。

同大会には、キャンプ・ハンセン所属隊員やキャンプ・ハンセンが所在する金武町・宜野座村・恩納村の職員をはじめとする地域の方々、同地域を所轄する石川警察署に加え当局からも井上局長のほか多くの職員が参加しました。

試合は、8チームによるトーナメント方式で行われ、珍プレイ、好プレイと和気あいあいでソフトボールを楽しみ、交流を深めました。



ソフトボール大会の様子

南城市つきしろ区におけるカンナの苗木植栽ボランティア活動



苗木を植栽する様子

8月30日、航空自衛隊知念分屯基地の隊員有志一同は、南城市つきしろ区の自治会が企画するカンナの苗木の植栽に参加しました。

本植栽は、知念分屯基地前の県道68号線沿いの花壇で行われ、距離にして900メートル、数にして6種類計1万本にも及びました。

県道68号線は、親慶原からニライカナイ橋を経て、斎場御嶽への観光コースであるとともに、毎年11月に開催される尚巴志マラソンのコースとしても使用されています。また、同基地隊員も、日頃から、体力錬成のためこのコースを「駆け足」でよく活用させてもらっています。

苗木が花を咲かせると、地域住民をはじめ、観光客、マラソンランナー、そして隊員の目を楽しませてくれるものと考えています。本活動においては、つきしろ区民の方々との交流を図りつつ、この場を訪れるすべての方々を楽しんでいただきたいという思いを込めて隊員有志一同区民の方々と共に汗を流しました。

(航空自衛隊知念分屯基地隊員 寄稿)

在沖米海軍所属の海軍軍人等が平敷屋区民等と親善・交流

10月17日、うるま市のきむたか子どもセンターにおいて、ハロウィンイベントが開催され、在沖米海軍所属の海軍軍人、軍属とその家族のボランティア約60人と地元平敷屋の子ども達やその保護者など約400人が楽しいひとときを過ごしました。

当日は、輪投げなどのゲームコーナーやボディペイントコーナーが設けられたほかハロウィンに欠かせないトリック・オア・トゥリートや仮装コンテストが行われました。

トリック・オア・トゥリートでは、普段見慣れないアメリカのお菓子が振る舞われたこともあり大いに盛り上がりました。

きむたか子どもセンターの西新屋美香さんは、「子ども達は毎年行われるこのイベントを楽しみにしています。引っ込み思案な子が仮装コンテストに参加し普段と違う一面を見せてくれます。」と話してくれました。



ハロウィンイベントの様子

【写真提供：在沖米海軍艦隊活動司令部】



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。

連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納290-9 沖縄防衛局総務部報道室

メールアドレス：houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp